

第一章 貧女吟（紀長谷雄）

——不幸な女の物語

第二章 夏日閑居、庭前の三物を詠ず（源順）

——越調詩

第三章 《策問》 循良を詳らかにす（菅原輔正）

——学問の文章（一）

第四章 《対策》 循良を詳らかにす（大江拳周）

——学問の文章（二）

第五章 第八皇子の始めて御注孝経を読むを聴く詩の序（菅原文時）

——学問の文章（三）

第六章 後漢書竟宴の詩の序（紀長谷雄）

——学問の文章（四）

第七章 文選竟宴の詩の序（菅原文時）

——学問の文章（五）

第八章 冷泉院の池亭に「花光水上に浮かぶ」を賦す詩の序（菅原文時）

——学問の近くにある文章

第九章 仏性院に秋を惜しむ詩の序（源順）

——仏性院の詩宴

第十章 天台山円明房に月前に閑談すといふ詩の序（大江以言）

——比叡山の詩会

第十一章 龜山の神を祭る文（源兼明）

——山の神に祈る

索引	206	あとがき	202	本朝文粹作品表	184	作者略伝	181
----	-----	------	-----	---------	-----	------	-----

SAMPLE